

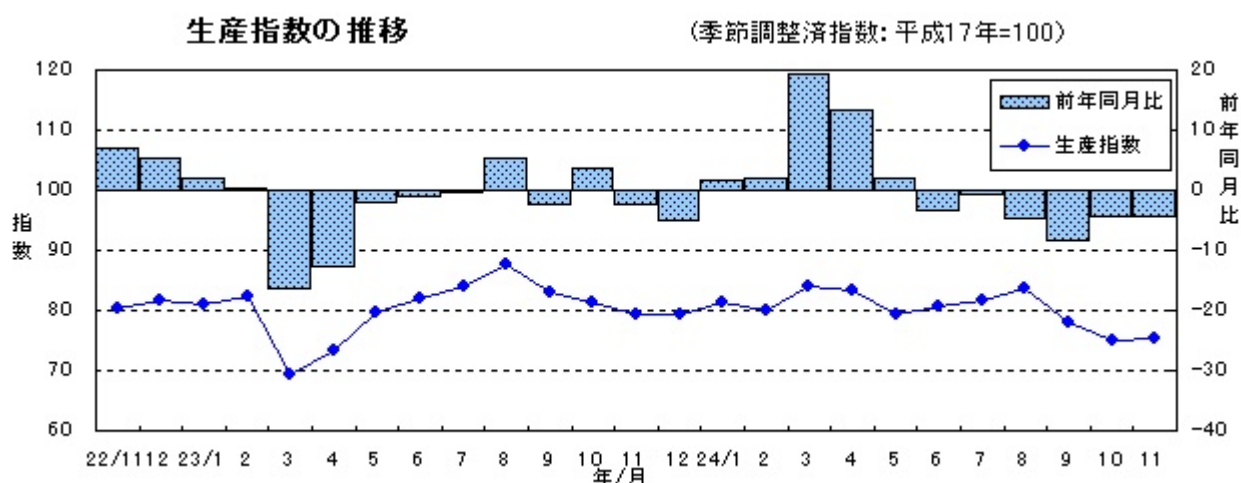
# 静岡県鉱工業指数 (平成24年11月分速報)

## 1. 生産の動き

前月比0.1%増(3か月ぶりに上昇)、前年同月比4.5%減(6か月連続して低下)

11月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成17年=100)は75.2であった。  
前月比(季節調整済指数)は0.1%増と3か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は4.5%減と6か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、化学、パルプ・紙・紙加工品、ゴム製品等が上昇する一方、電気機械、食料品・たばこ、窯業・土石製品等が低下した。

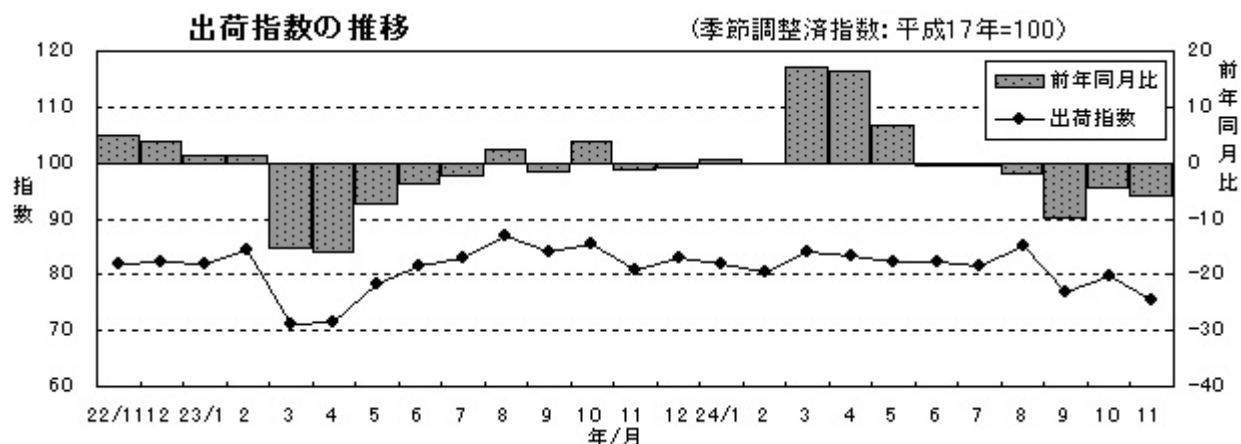


## 2. 出荷の動き

前月比5.5%減(2か月ぶりに低下)、前年同月比5.9%減(6か月連続して低下)

11月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成17年=100)は75.4であった。  
前月比(季節調整済指数)は5.5%減と2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は5.9%減と6か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、化学、プラスチック製品、その他製品等が上昇する一方、食料品・たばこ、電気機械、輸送機械等が低下した。



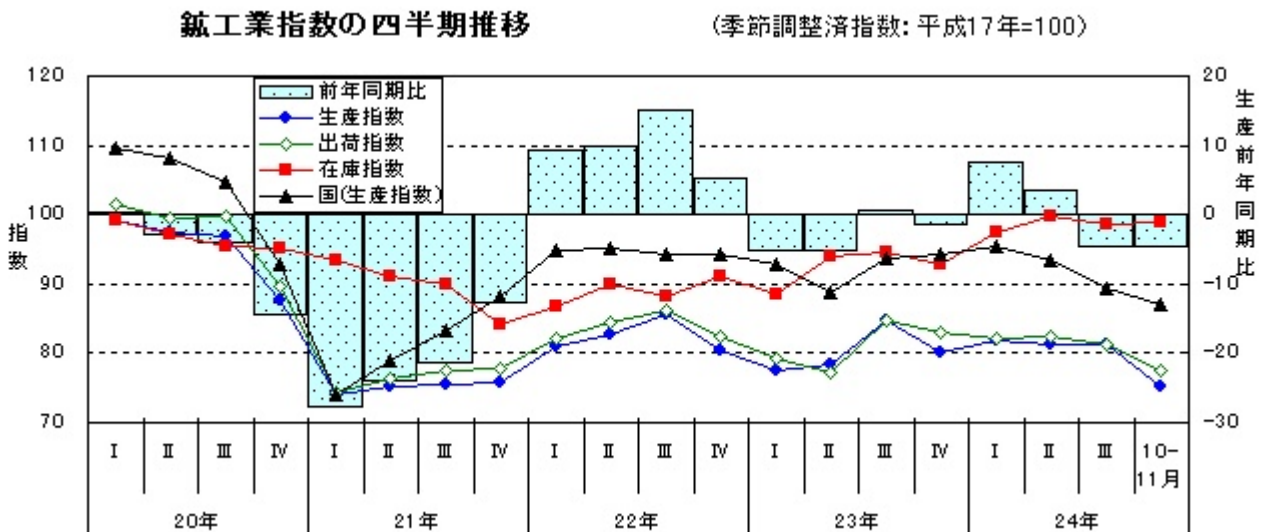
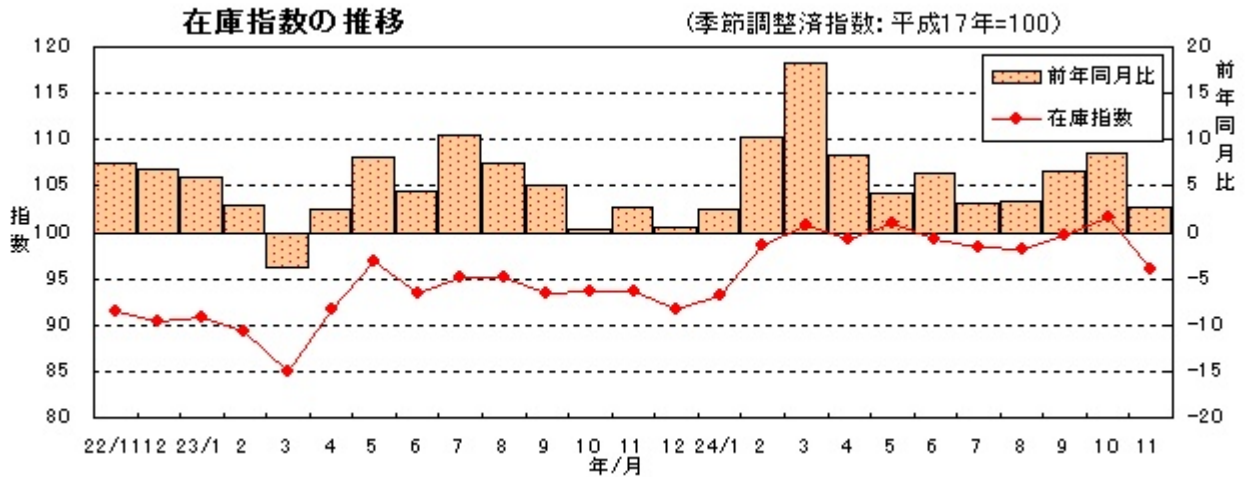
### 3. 在庫の動き

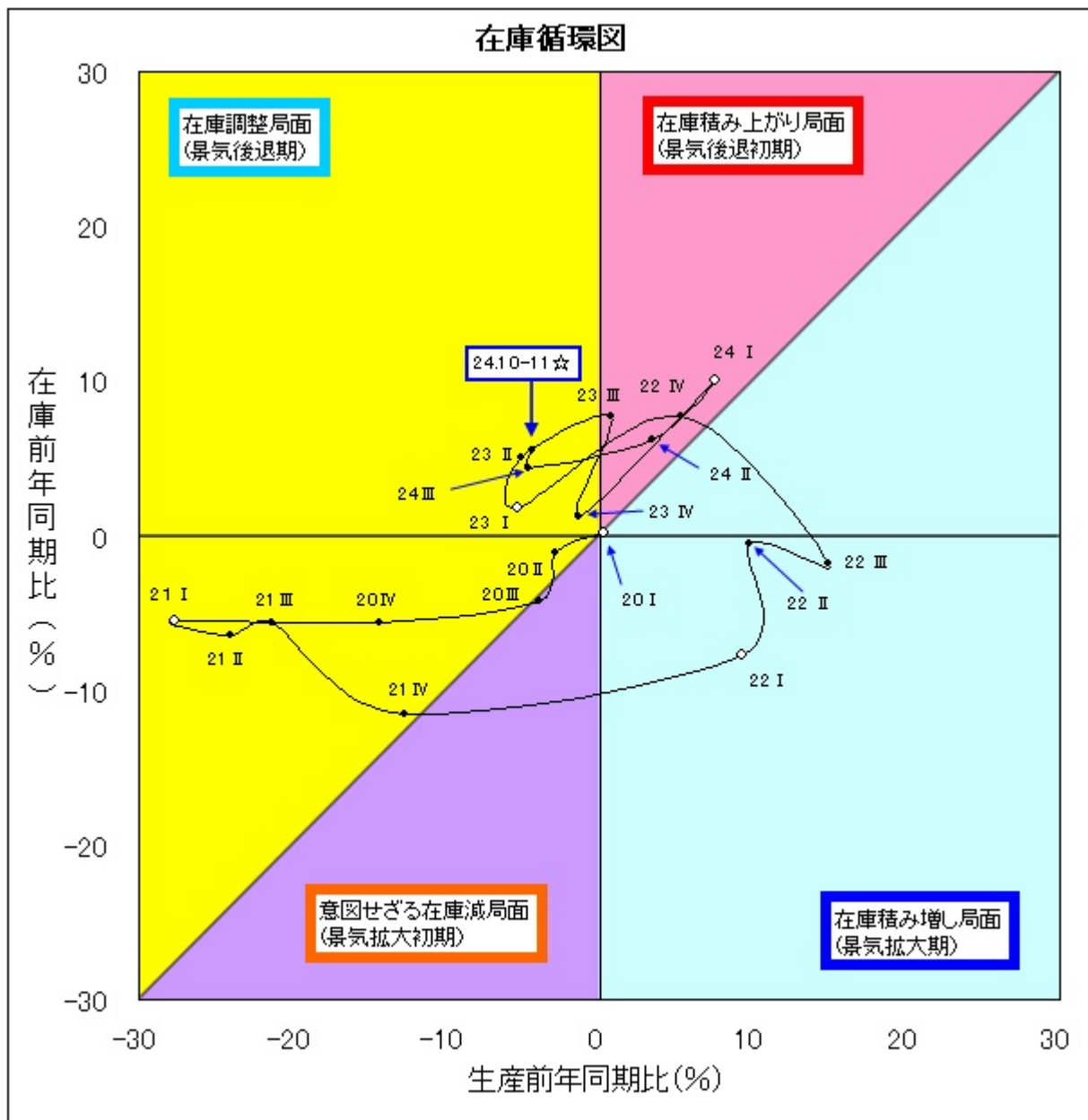
前月比5.5%減(3か月ぶりに低下)、前年同月比2.7%増(20か月連続して上昇)

11月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成17年=100)は96.1であった。

前月比(季節調整済指数)は5.5%減と3か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は2.7%増と20か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、輸送機械、電気機械、木材・木製品等が上昇する一方、化学、食料品・たばこ、非鉄金属等が低下した。





- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**  
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**  
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ☆ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 10-11月はここに該当**  
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**  
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。